



連合高知

<発行所>連合高知

日本労働組合総連合会高知県連合会

〒780-0870 高知市本町4丁目1-32

こうち労働センター内

TEL(088)824-5111

FAX(088)824-3002

<発行責任者>折田晃一

No.108 2017年1月1日

迎春



2017年 明けましておめでとうございます



明けましておめでとうございます。

日頃からの連合高知の運動に対するご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

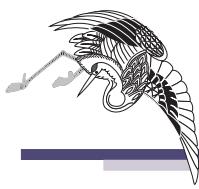
さて、国の内外を問わず、経済のグローバル化、新自由主義政策の浸透により、一部の富裕層への富の集中と貧困層の増大、貧困問題の深刻化が進行しています。憂慮すべきことは、世界的に、少数者の排除など極端な主張を展開することにより格差や社会的不条理に対する人々の不満や怒りを煽る政治手法が横行し、強権的政治勢力が台頭していることです。このような政治のあり様が、他者との違いに不寛容で人権を軽んじる息苦しい社会をつくり出していることを重く受け止める必要があります。

今こそ、排除と分断ではなく、連帯と共生を重

視する労働組合がしっかりと役割を果たさなければなりません。連合として「働くことを軸とする安心社会」実現の旗を高く掲げ、奮闘していきたいと思います。

『「底上げ・底支え」「格差是正」でクラシノソコアゲを実現しよう！長時間労働撲滅でハッピーライフの実現を！』のスローガンを掲げる2017春季生活闘争、「雇用形態間の合理的理由のない処遇格差を禁止することの明文化」などを求める真の働き方改革の実現の取り組み、政治を国民の手に取り戻す政治決戦である第48回衆議院選挙闘争など課題は山積しております。連合高知は、これらの課題の前進に向け、構成組織・単組の皆さんや志を同じくする県民の皆さんと手を携えて、様々な運動に取り組んでいく決意であります。

皆様方のこれまで以上のご指導とご支援をお願い申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。



【連合高知第28回臨時大会】

1年間の総括と運動方針の補強を決定



11月29日城西館にて、第28回臨時大会を開催した。この大会は、中間年大会にあたることから、この1年間の総括と運動方針の補強を行なった。

開催にあたり折田会長は、「本年も、日本は世界有数の自然大国を痛感させられる年となった。改めて、支え合い・助け合いの連帯社会づくりは、私たち連合運動の基本であること、そして連合高知として果たすことのできる運動と組織づくりをめざしていくことを確認し合いたい。国内外の情勢と私たちの運動の基本について、国際政治の中でポピュリズムが急速に台頭している。アメリカ大統領選挙でトランプ候補が勝利したことはその象徴である。このような状況だからこそ、排除ではなく、連帯と共生を重視する労働組合の、そして連合の出番ではないかと考えている。『働くことを軸とする安心社会』実現に向け、奮闘していくことの重要性を訴えさせていただく」とあいさつした。

来賓には、連合本部の仁平総合局長をはじめ多くの方々に出席いただき、それぞれの立場から激励のご挨拶をいただいた。活動報告・総括を行なった後、議事については第1号議案 役員の交代（案）引き続き、第2号議案 「2016～2017年度運動方針」の補強（案）、第3号議案 2017春季生活闘争（案）、第4号議案 2017年度一般・特別会計予算（案）、第5号議案 第24回参議院選挙闘争総括（案）について審議を行ない、すべて可決・承認し2017年度のスタートを切った。

《出された意見：○質疑・●答弁》

【活動報告】

○ 小磯代議員（私鉄総連）

ファミリーフェスタについて、今年で3回目の開催となりサッカー教室が開催された。日頃組合活動に参加できない組合員から、親子で参加できたという喜びの声があった。少しでも、連合の活動に興味を持っていただくことが地域運動にもつながっていく。ぜひ、今後多くの組合員が参加できるような取り組みを続けていただきたい。

● 2014年から開催しており、野球、バレーそして今回のサッカー教室である。元々は、25周年行事として始まったが、好評であるため今後もファミリーフェスタとして継続し定着を図っていきたい。ぜひ今後多くの組合員の方々に参加をお願いする。

【議 案】

○ 山崎代議員（自治労）

第24回参議院選挙闘争総括について、最終的には各野党と市民団体による野党共闘で闘い、逃げた票もあったが、無党派数の票を取り入れることができた。衆院選において、巨大与党に対抗していくためには野党共闘しかないのではないか。民進党だけでなく連合が積極的に取り組むべきではないか。



○ 谷代議員（自治労）

みんなの認識の中でも、自民党政権に対してこのままで勝てないことは分かっている。少なくとも野党共闘して1本化していかない限り勝てないと考えており、そのためにも連合から民進党に対して意見していただきたい。連合内で違和感があるのは当然であるが、野党共闘しない限り勝てない。



● 総括に書いたとおり、野党共闘による効果については一定評価している。一方で共闘することによって生まれた課題もあることは事実である。次回衆院選において、野党が連携するか否かは、中央での政党間の動きも注視していく必要があると考えている。連合は、結成時に「左右の全体主義を排し・・・」との考え方でスタートしており、現時点でもそれに変わりはない。そういう観点では、基本的に連合が共産党と連携することはあり得ない。私たち連合は「労働組合」、民進党は「政党」であり、それぞれ立場には違いがある中で、いかにして自公票以外を一つにまとめていくかを考えいかなければならぬ。現時点においては、共闘・連携の有無にかかわらず、民進党県連と連合高知が主体性を發揮し、広田・大石両候補の必勝を目指していく。

○ 山崎代議員（自治労）

連合内部で組織分断が危惧される。組織の分断をさせてはならない。連合運動の強化に取り組んでいただきたい。

● 先日の中央委員会においても、逢見事務局長が「組織の分断は絶対にあってはならない」と断言していた。先程の答弁と重なるが、我々は労働組合の立場である。政党間協議の状況を見定めたうえで連合として判断していく。

○ 谷代議員（自治労）

TPP問題については、暮らしと労働に大きな悪影響をもたらす課題である。廃止への取り組みを積極的にお願いしたい。

● TPPの中身は勿論のこと、交渉の経過や状況などがオープンにされておらず、政府はもっとしっ

かりした情報を広く国民に知らせる必要がある。また、強行採決は断じて許されないと考えている。

○ 池添代議員（自治労）

今回の賃金闘争は、家族手当の見直しや扶養手当の支給要件の見直しであった。経団連は、配偶者手当の見直しなどを呼び掛ける方針のようだが民間企業への波及についてはどうか。



● 扶養手当の見直しについて連合本部の方針は不確かではあるが、配偶者控除の103万円の壁を150万円に引き上げる方針を出したことによるものであると思われる。今後の動向を注視していただきたい。

○ 「クラシノソコアゲキャンペーン」など街頭行動での取り組みがあまり知られていない。また、連合が審議会のなかで奮闘して最賃が上がっていることなどについても広く知られていない。これまでの連合の活動や取り組み、努力などが安倍政権のお手柄としてすり替えられないようお願いしたい。

● 最賃に関しては、早期に1,000円をめざすというのが連合の考え方である。しかし、計算上時給1,000円となっても年間200万円のワーキングプアの域から脱せない。最近では、さらに欧米並み水準に1,500円を目指し、人たるに値する健康で文化的な生活が営めるように年収300万円を目指す方針を示している。その他、連合の様々な活動が広く地域の方々に認知されるよう工夫をしていただきたい。また、活動にあたっては、引き続き各組織からの積極的な参加とご協力をお願いする。

○ 「若者向け労働ハンドブック」は良い取り組みである。連合として取り組みを定着させるとともに、将来的には大学での寄付講座などを行なっていただきたい。

● ハンドブックは、先日県立大学に出向いて一度説明を行ったが、内容をきちんと伝えるためには何回か継続して行なわないといけない。事務局も限られた人数であり、なかなか難しい面もあるが前進を図っていただきたい。

【新役員】



執行委員
百田 篤司
UAゼンセン



執行委員
森本 明博
JAM

【退任役員】



執行委員
田村真琴
UAゼンセン

お疲れさま
でした。

女性委員会第26回総会・青年委員会2017年総会 &合同クリスマスパーティー

12月3日（土）高知市勤労者交流館にて、両委員会は開会から挨拶までを合同で行い、その後両委員会に分かれて総会を開催した。

女性委員会では、i. ネットワークづくりと問題意識の共有化、ii. 男女平等参画の推進、iii. 均等待遇・政策・制度要求の取り組み、iv. 連帯活動の取り組み、の4項目を重点課題として取り組み強化することを全体で確認した。

青年委員会では、向こう一年間の活動方針の柱を、i. 幹事会の定期開催を継続し、積極的に産別の枠を超えた連帯強化を進める、ii. 青年層が共有できる課題を議論し、仲間意識を高める学習会を企画する、iii. 各種平和行動や連合高知の取り組みに積極的に参加する、iv. 連合高知第4次男女平等参画推進行動計画の実践に向けて議論を深め、女性委員会と連携し男女の枠を超えた連帯強化に取り組む、v. 職場の課題と政治の課題を結びつけながら政治活動の取り組みを強化することを全体で確認した。

総会終了後、場所を移動してタンドル・ターブル（かるぽーと1階）にて、「連合高知クリスマスパーティー」を開催し、幹事以外の組合員（幼児・小学生含め）総勢61名の参加があった。自己紹介、アイスブレイクから始まり、各自用意してきたプレゼント交換など終始和やかな雰囲気の中、産別や職域を越えた交流がはかれた。

